

■真雅 僧。第4代東寺長者。貞観寺僧正。空海の実弟で、その後継として、清和天皇以降の皇室護持。
しんが
蝦夷地平定・801= 生。讃岐国多度郡の人。父は佐伯直田公。のち宿禰の姓を賜わり左京に移貫。_空海の実弟。

桓武天皇没・806= 5歳：空海が帰国し、真言宗を開く。

嵯峨天皇即位 809= 8歳：上京し、_空海に師事して真言の法を学び、
薬子の変・・・810= 9歳：

・・・・・・ 819=18歳：_東大寺で具足戒を受けた。

嵯峨上皇・・・823=22歳：_勅命により内裏で真言三十七尊の梵号を唱講したところ、その珠を貫くがごとき声に嵯峨天皇を始め聴く者は酔いしれたという。

・・・・・・ 824=23歳：高雄山寺が定額寺となり、名を神護国詐真言寺として定額僧14口を置いた時、その一員となった。

桓武平氏始・825=24歳：_東寺で金胎阿闍梨を受けて阿闍梨位となったといわれる。

・・・・・・ 828=27歳：

・・・・・・ 831=30歳：_伝法灌頂を授けられ、

空海没・・・835=34歳：空海が死去。

遣唐使再遭難 837=36歳：

承和の変・・・842=41歳：

良房右大臣・846=45歳：

円仁帰国・・・847=46歳：_東大寺別当、
俘囚反乱始・848=47歳：_権律師、続いて、律師となった。

文徳天皇即位 850=49歳：*藤原良房の請により染殿皇后(藤原明子)のために尊勝法を修し、皇子(のちの清和天皇)が無事誕生。以後、良房と清和天皇の信任厚く、

・・・・・・ 852=51歳：良房と相謀って嘉祥寺に西院を建立し、活躍の時代を迎える。

円珍入唐・・・853=52歳：少僧都、

・・・・・・ 855=54歳：

・・・・・・ 856=55歳：_大僧都に任ぜられた。

人民摂政の実 858=57歳：

・・・・・・ 859=58歳：真雅の奏請により、聖天安穩・宝昨長久を祈るために嘉祥寺西院に年分度者3人が置かれ、

・・・・・・ 860=59歳：*真濟示寂のあと、二長者真紹を超えて東寺長者となった。

・・・・・・ 861=60歳：東大寺大仏の修理が終わり供養会が修されるに当り、真雅は本殿南管の繡帷1条、舞衣9領、4の裳、1の袴を寄進した。同年、書博士佐伯直豊雄など田公の子・孫11人に宿禰の姓を賜わり左京に移貫したが、この裏には真雅の働きかけがあったものと考えられる。

鴻臚館設置・862=61歳：嘉祥寺西院が貞観寺と称されることとなり、

富士山噴火・864=63歳：*真雅の奏上により僧綱の位階が定められ、僧正階を法印大和尚位、僧都階を法眼和上位、律師階を法橋上人位とした。この時、真雅は僧正・法印大和尚位に任ぜられ、その賞として贊車の宣旨を受けた。同年、空海・最澄に法印大和尚位が追贈された。

応天門の変・866=65歳：

・・・・・・ 870=69歳：法務を兼ね、嘉祥寺西院の年分度者が貞観寺年分度者に改称され、

藤原良房没・872=71歳：貞観寺諸堂が完成し、諸宗の高僧百人を請じて大齋会が修された。これを機に真雅は同年から3たび僧正・法務の辞職を請うたが許されず、貞観寺に定額僧15人が置かれた。

清和源氏始・873=72歳：大旱のため神泉苑で祈雨法を修し、法験をえた。

・・・・・・ 874=73歳：*上表して貞観寺に座主職を置き、僧綱の摂領から脱した。

出羽元慶の乱 878=77歳：嘉祥寺に定額僧7人が置かれ、僧綱の摂領をはなれて貞観寺座主・三綱の検知するところとなり、空海の十大弟子と法孫十二人を上奏した。

元慶官田・・・879=78歳：貞観寺において、_没した。

付法の弟子に真然・源仁・真咬らがいる。著作には「胎藏大法次第」2巻、「稻荷大神流記」「六通真記」などがある。